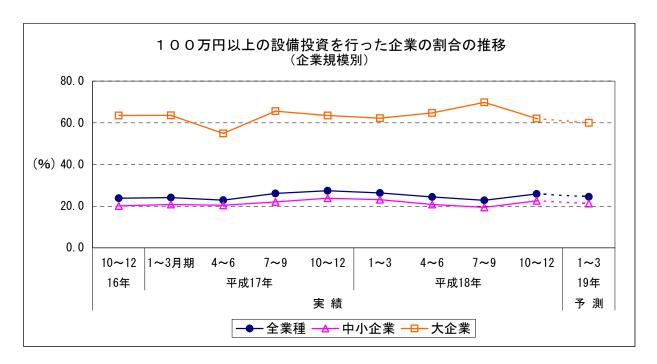
1 『地場企業の経営動向調査』(福岡商工会議所調査結果) 企業規模別

(1) 平成18年10~12月期の概況 今期に100万円以上の設備投資を行った企業は、全業種平均で25.9%と 前期比3.1ポイントプラスとなった。

100万円以上の設備投資を行った企業の割合(%)

10071	リムエい訳	用汉貝で1	リフに正来の	<u> </u>	
			全業種	中小企業	大企業
平成16年	10~12月期		23. 8	20. 1	63. 5
	1~3月期		24. 1	20. 8	63. 6
平成17年	4~6月期		22. 9	20. 4	54. 9
(2005)	7~9月期		26. 1	22. 0	65. 6
	10~12月期	実 績	27. 4	23. 8	63. 5
	1~3月期		26. 3	23. 1	62. 2
平成18年	4~6月期		24. 4	20. 8	64. 7
(2006)	7~9月期		22. 8	19. 4	69. 8
	10~12月期		25. 9	22. 6	62. 0
平成19年	1~3月期	予 測	24. 5	21. 3	60.0



注)調査の概要

1) 調査対象: 当所会員企業を対象とし1,500社を任意抽出。回答数:599(回答率:39.9%)

業種別回答企業数:建設業121社(構成比20.2%)、製造業106社(同17.7%)、卸売業144社(同24.0%)

小売業72社(同12.0%)、運輸·倉庫業30社(同5.0%)

サービス業126社 (同21.0%)

規模別回答企業数:中小企業549社(構成比91.7%)、大企業50社(同8.3%)

2) 調査時期:平成18年12月末時点

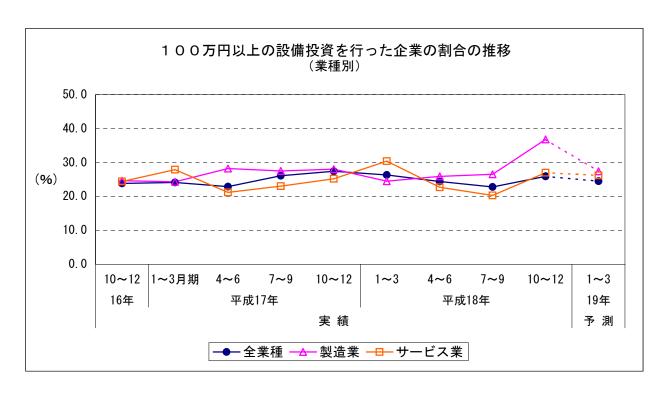
2 『地場企業の経営動向調査』(福岡商工会議所調査結果)

業種別

(1) 平成18年10~12月の概況 業種別では、製造業は前期比10.3ポイントプラス、サービス業は前期比 6.7ポイントプラスとなった。

100万円以上の設備投資を行った企業の割合(%)

10071			<u>フに正来の</u>	310 (/0/	
			全業種	製造業	サービス業
平成16年	10~12月期		23. 8	24. 6	24. 4
	1~3月期 平成17年 4~6月期	24. 1	24. 3	27. 9	
平成17年			22. 9	28. 2	21. 2
(2005)	7~9月期	実 績	26. 1	27. 5	23. 0
	10~12月期		27. 4	28. 0	25. 2
	1~3月期		26. 3	24. 5	30. 4
平成18年	4~6月期		24. 4	25. 9	22. 7
(2006)	7~9月期		22. 8	26. 5	20. 3
	10~12月期		25. 9	36. 8	27. 0
平成19年	1~3月期	予 測	24. 5	27. 4	26. 2



3 『法人企業景気予測調査』(財務省福岡財務支局調査結果)

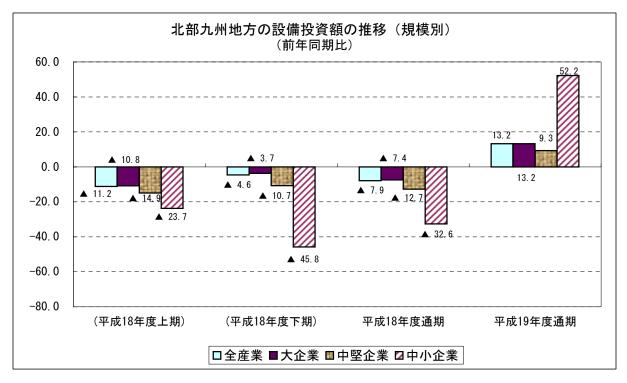
(1) 北部九州地方の平成18年度設備投資通期見通し 非製造業は前年度を上回るものの、製造業では前年度を下回ることから、 全産業で前年度を7.9%下回る見込みとなっている。 規模別に見ると、大企業、中堅企業、中小企業いずれも前年度を下回る 見込みとなっている。

(本社ベース)

(対前年同期比、%:金額データ)

		業種別		規模別		
法人企業景気予測調査	全産業	製造業	非製造業	大企業	中堅企業	中小企業
(平成18年度上期)	▲ 11. 2	▲ 21. 7	0. 1	▲ 10.8	▲ 14. 9	▲ 23. 7
(平成18年度下期)	▲ 4.6	▲ 14. 9	1. 8	▲ 3.7	▲ 10. 7	▲ 45.8
平成18年度通期	▲ 7.9	▲ 18.9	1. 0	▲ 7.4	▲ 12. 7	▲ 32.6
平成19年度通期	13. 2	59. 9	0. 5	13. 2	9. 3	52. 2

※ソフトウェア投資額および土地購入額は含まない。



注)調査の概要

- 1)調査の目的 企業活動の現状と先行き見通しに対する経営者の判断を調査し、経済・財政政策運営の基礎 資料を得ることを目的として、統計報告調整法に基づく承認統計調査として年4回実施。
- 2) 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自社記入を求める方法による。
- 3)調査時期 平成19年2月下旬~3月上旬(調査時点:2月25日)
- 4) 対象期間 平成18年4~6月期実績、平成18年7~9月期実績、平成18年10~12月期実績、 19年1~3月期実績見込み。
- 5) 対象企業数 北部九州3県(福岡県、佐賀県、長崎県)に所在する資本金1千万円以上(ただし、電気ガス・水道業及び金融・保険業は資本金1億円以上)の企業。

対象企業:539社(うち、大企業(資本金10億円以上)が134社、中堅企業(1億円以上~10億円未満)が111社、中小企業(1千万円以上~1億円未満)が294社)。

製造業 112社 非製造業 427社

6) 回答企業数 大企業134社(回収率100.0%)、中堅企業105社(同94.6%)、中小企業249社(同84.7%)

4 建築着工床面積(居住専用住宅等除く)(2007年2月)

(1) 前年同月比:6か月ぶりのマイナス

		着工床面積	前年同月比
	2月	296, 408	72. 2
	3月	203, 868	15. 6
	4月	211, 032	69. 7
	5月	224, 501	▲ 0.9
平成18年	6月	295, 377	71. 3
(2006)	7月	209, 825	10. 1
(2000)	8月	191, 804	▲ 19.0
	9月	344, 507	35. 3
	10月	257, 623	41. 4
	11月	298, 202	25. 5
	12月	217, 847	1. 6
平成19年	1月	251, 064	11. 4
(2007)	2月	291, 718	▲ 1.6

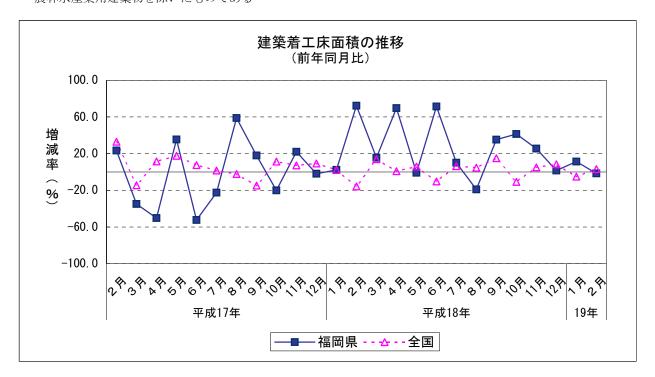
		着工床面積	前年同期比
	1~3月	568, 981	▲ 1.5
平成17年	4~6月	523, 402	▲ 32. 9
(2005)	7~9月	681, 957	11. 6
	10~12月	634, 364	▲ 1.1
	1~3月	725, 643	27. 5
平成18年	4~6月	730, 910	39. 6
(2006)	7~9月	746, 136	9. 4
	10~12月	773, 672	22. 0

	着工床面積	前年比
平成16年(2004)	2, 609, 160	17. 0
平成17年(2005)	2, 408, 704	▲ 7. 7
平成18年(2006)	2, 976, 361	23. 6

資料出所:国土交通省「建築着工統計調査」

着工床面積単位: m2

※全建築物計から、居住専用住宅、居住専用準住宅、居住産業併用建築物及び 農林水産業用建築物を除いたものである



5 建築着工工事費予定額(居住専用住宅等除く)(2007年2月)

(1) 前年同月比: 3か月ぶりのプラス

		着工予定額	前年同月比
	2月	31, 005	41.6
	3月	26, 048	23. 5
	4月	21, 724	64. 7
	5月	28, 067	▲ 8.8
亚带10年	6月	35, 791	55. 8
平成18年(2006)	7月	23, 385	16. 2
(2000)	8月	21, 077	▲ 24. 2
	9月	47, 611	74. 2
	10月	28, 160	26. 0
	11月	38, 243	22. 6
	12月	23, 935	▲ 14.6
平成19年	1月	28, 652	▲ 5.2
(2007)	2月	33, 370	7. 6

		着工予定額	前年同期比
	1~3月	70, 046	▲ 1.1
平成17年	4~6月	66, 934	▲ 25. 4
(2005)	7~9月	75, 280	2. 8
	10~12月	81, 559	5. 3
	1~3月	87, 289	24. 6
平成18年	4~6月	85, 582	27. 9
(2006)	7~9月	92, 073	22. 3
	10~12月	90, 339	10.8

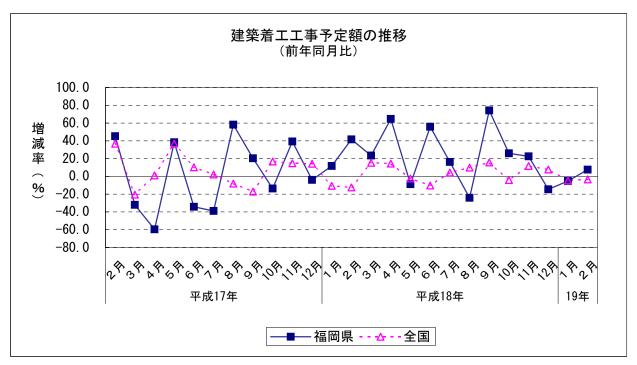
	着工予定額	前年比
平成16年(2004)	311, 250	12. 0
平成17年(2005)	293, 820	▲ 5.6
平成18年(2006)	355, 283	20. 9

資料出所:国土交通省「建築着工統計調査」

着工予定額単位:百万円

※全建築物計から、居住専用住宅、居住専用準住宅、居住産業併用建築物及び

農林水産業用建築物を除いたものである



6 全国の設備投資(工作機械受注額) (2007年3月)

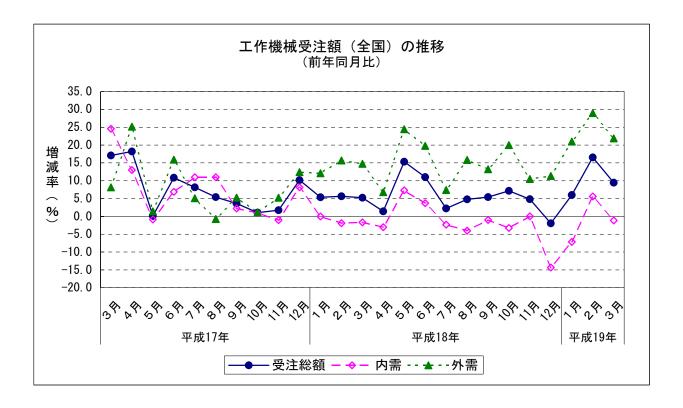
(1) 前年同月比

ア 受注額 (総額) : 3 か月連続のプラスイ 内 需 : 2 か月ぶりのマイナスウ 外 需 : 1年5 か月連続のプラス

		受注額	(総額)	内	需	外	需
		受注額計	前年同月比	受注額計	前年同月比	受注額計	前年同月比
	3月	125, 145	5. 2	67, 679	▲ 1.7	57, 466	14. 7
	4月	118, 833	1.4	62, 220	▲ 3.0	56, 613	6.8
	5月	123, 910	15. 3	61, 460	7. 3	62, 450	24. 4
	6月	127, 847	11.0	64, 889	3. 7	62, 958	19. 8
平成18年	7月	114, 431	2. 2	58, 217	▲ 2.3	56, 214	7. 4
(2006)	8月	115, 214	4. 8	58, 252	▲ 4.0	56, 962	15. 8
	9月	122, 106	5. 4	63, 069	▲ 1.0	59, 037	13. 2
	10月	116, 630	7. 2	58, 049	▲ 3.3	58, 581	20. 0
	11月	120, 915	4. 9	62, 255	0.0	58, 660	10. 5
	12月	126, 133	▲ 1.9	56, 948	▲ 14. 3	69, 185	11. 3
亚世 1 0 年	1月	119, 891	6. 0	55, 668	▲ 7.2	64, 223	21.0
平成19年(2007)	2月	131, 396	16. 5	63, 353	5. 6	68, 043	29. 0
(2007)	3月	136, 995	9. 5	66, 916	▲ 1.1	70, 079	21. 9

受注額単位:百万円

資料出所:日本工作機械工業会



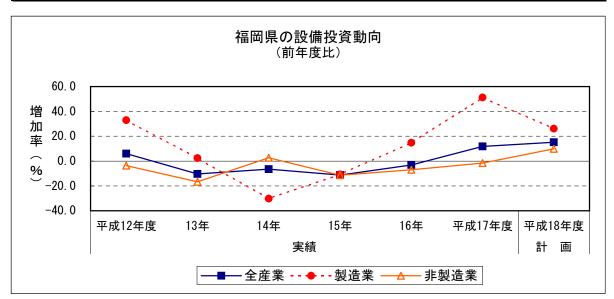
7 『九州地域設備投資動向』(日本政策投資銀行調査結果)

- (1)福岡県の平成18年度設備投資計画 前年度比 15.2%増(製造業26.1%増、非製造業9.9%増) 好調が続く製造業に加え、非製造業においても持ち直しの動きが続き、 全体では2年連続の二桁増となる。
 - ○製造業 薄型ディスプレイ関連部品の工場新設等が行われる電気機械や 高級鋼材の需要増に呼応した生産能力増強等が行われる鉄鋼、半導 体に関連した電子材料の工場新設等が行われる化学など、幅広い業 種で増加となり、全体では3年連続の二桁増。
 - ○非製造業 鉄道分野のターミナル機能強化投資が行われる運輸が前年を大き く上回り、電力・ガスや通信・情報も増加、持ち直しの動きが続く。

福岡県の設備投資動向

(単位:%)

		平成12年度 実績	平成13年度 実 績	平成14年度 実績	平成15年度 実績	平成16年度 実績	平成17年度 実績	平成18年度 計 画
全	産 業	6.0	▲ 10.3	▲ 6.5	▲ 11.3	▲ 3.1	11.8	15. 2
	製 造 業	33. 0	2. 4	▲ 30.2	▲ 10.8	14. 8	51. 2	26. 1
	非製造業	▲ 3.6	▲ 16.7	2. 7	▲ 11.4	▲ 7.0	▲ 1.6	9. 9



(参考) 九州の設備投資動向

(単位:%)

	(<i>D</i> -1) / (<i>D</i>) (7711.7					\ + 2 · / 0/
		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
L		実 績	実 績	実 績	実績	実績	実 績	計画
	全 産 業	8.8	▲ 8.3	▲ 17.0	7. 8	16. 0	0. 1	12. 2
	製 造 業	28. 6	▲ 10.4	▲ 30.0	44. 1	51. 5	1. 5	25. 3
	非製造業	▲ 1.8	▲ 6.8	▲ 10.1	▲ 9.3	▲ 2.8	▲ 1.0	1. 8

注)調査の概要

- 1)調査時点 平成18年6月23日現在
- 2) 対象企業 全産業(但し、農業、金融保険業等を除く)に属する原則資本金1億円以上の企業 回答会社数 平成17、18年度共通延622社(九州は同1,728社)
- 3) 調査方法 個別企業に対するアンケート方式
- 4) 設備投資額 工事ベース